

研究成果情報	農産	20	麦	栽培
新技術・情報名	ビール大麦「アサカゴールド」 の安定栽培法		分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

大麦萎縮病抵抗性で良質・多収なビール大麦新品種「アサカゴールド」の高品質・多収栽培法を検討し、適正な播種期、播種量及び施肥量について明らかにした。

(1) 播種期については、現在の標準播種期よりやや晩播した方が良く、倒伏が少なく整粒歩合・整粒収量がやや高くなり、外観品質も良好になる。

(2) 播種量は、11月下旬の適期播においては7 kg/10a、12月上旬の晩播ではそれより多い10 kg/10a程度が適当である。

(3) 施肥量は、少肥では穂数不足から子実収量の低下を招き、一方、多肥ではうどんこ病・倒伏の発生が多くなって整粒歩合・外観品質が低下し被害粒の凸腹粒が増加する。このため、安定栽培のためには標準施肥量(6 + 3 kg/10a)とする。

2) 技術・情報の適用効果

アサカゴールドの高品質・多収栽培の普及により、ビール大麦の生産が安定する。

3) 適用範囲

県内のビール大麦作付地帯

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

(1) 穂数が500本/m²以上になると倒伏が多くなり、外観品質が低下するので、密播や多肥は避け、生育期の分けつ数が多すぎる場合は麦踏み、追肥により穂数を調節する。

(2) うどんこ病に弱いので、発生した場合は速やかに防除する。

2. 具体的データ

表1 播種期と生育・収量・品質（平成元年～3年度の平均）

播種期	穂数	倒伏	子実 収量	同左 適播比	整粒 歩合	整粒 収量	同左 適播比	外観 品質
月・日	本/㎡		kg/a	%	%	kg/a	%	
11.20～26（適期播）	419	0.6	38.5	100	75.2	28.9	100	5.1
12.5（晩播）	376	0.1	35.4	92	82.4	29.2	101	4.6

注）倒伏は0（無）～5（甚）の6階級、外観品質は1（上上）～9（下下）の9階級で判定した

表2 播種量と生育・収量・品質（平成元年～3年度の平均）

播種期	播種量	穂数	倒伏	子実 収量	同左 標準比	整粒 歩合	整粒 収量	同左 標準比	外観 品質
月・日	kg/10a	本/㎡		kg/a	%	%	kg/a	%	
11.20～26（適期播）	3.5～4.7	389	0.2	37.5	90	77.4	29.0	94	5.2
	7.0*	453	0.7	41.7	100	73.9	30.8	100	5.2
	9.3～10.5	459	0.7	40.4	97	74.6	30.1	98	5.6
12.5（晩播）	7.0	368	0	36.0	94	81.7	29.4	92	4.4
	9.3～10.5*	415	0	38.5	100	83.0	32.0	100	4.8

注）*：標準播種量

表3 施肥量と生育・収量・品質

年度	施肥 水準	施肥量	穂数	倒伏	子実 収量	同左 標準比	整粒 歩合	整粒 収量	同左 標準比	外観 品質
		kg/10a	本/㎡		kg/a	%	%	kg/a	%	
元、2年平均	標肥	6 + 3	428	0.4	40.1	100	76.6	31.0	100	5.5
	多肥	7.8+3.9	470	0.8	42.5	106	73.2	31.5	102	5.9
3年	少肥	4 + 2	301	0	27.7	80	84.2	23.4	80	3.9
	標肥	6 + 3	358	0	34.5	100	84.0	29.0	100	3.8

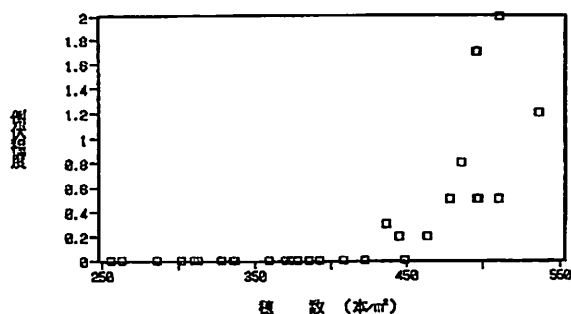


図1 穂数と倒伏程度との関係

3. その他特記事項

担当部 科室名：農産研究所 育種部 二条大麦育種研究室
 研究担当者名：吉野 稔・吉川 亮
 研究課題名：ビール大麦「アサカゴールド」の安定栽培法
 期間：平成元年～平成3年
 予算区分：経常
 既発表論文・資料名等：平成元～3年度二条大麦育種試験成績書
 取りまとめ責任者名：吉野 稔